

科目名	病理学疾病論 1	担当講師	福山康朗 (医師) 小路高史 (医師) 西川 渉 (医師)
開講年次	2 年生前・後期	単位数	1 単位
授業形態	講義	時間数	30 時間 + 試験 1 時間
学習目的	病理学総論をふまえ、疾患の治療・検査について理解し、専門分野と関連付けて学ぶ。		
学習目標	臨床における各疾患の病態生理・症状・治療・検査について理解できる。		
授業計画	回数	担当講師	授業計画
	第 1 回	福山康朗	呼吸器障害と治療 1) 感染による気道・肺の炎症と治療 (結核も含む) 2) 気管支喘息と治療 3) 肺の腫瘍と治療 4) 急性及び慢性呼吸不全と治療 5) 呼吸機能の障害による循環機能への影響と治療
	第 2 回	福山康朗	
	第 3 回	福山康朗	
	第 4 回	福山康朗	
	第 5 回	小路高史	
	第 6 回	小路高史	循環器障害と治療 1) 出生前の異常による心機能の障害と治療 2) 後天的に心機能障害を引き起こす疾病と治療 3) 心筋の酸素欠乏による心機能障害と治療 4) 心機能の低下をきたした状態と治療 5) 心臓のリズムの障害と治療 6) 血液の供給を障害する血液の疾病と治療 7) 血圧の異常と治療 8) 循環機能の変化を伴う体温の上昇と治療
	第 7 回	小路高史	
	第 8 回	小路高史	
	第 9 回	小路高史	
	第 10 回	小路高史	
	第 11 回	西川 渉	脳・筋機能の障害と治療 1) 脳血管系と循環器障害の治療 2) 頭蓋内圧亢進に伴う疾病と治療 3) 神経変性・脱髄性の疾病と治療 4) 認知・コミュニケーション機能の障害と治療 5) 微生物の中樞神経への感染 6) 頭部の外傷と治療 7) 二次的に意識障害・神経障害を起こす疾病と治療 8) 神経・筋疾患と治療
	第 12 回	西川 渉	
	第 13 回	西川 渉	
	第 14 回	西川 渉	
第 15 回	西川 渉		
成績評価方法	終講試験 (ペーパーテスト) 試験配分: 福山講師30点 小路講師40点 西川講師30点を合計し100点満点とし、60点以上を合格とする。		
教科書			
参考図書			
関連科目	今後学ぶ疾患・看護につながる		
備考 (学生へのメッセージ)			

科目名	病理学疾病論Ⅱ	担当講師	村上右児(医師) 荻原 健(医師) 小路眞護(医師) 末廣朋未(医師)
開講年次	2年生前期・後期	単位数	1単位
授業形態	講義	時間数	30時間
学習目的	病理学総論をふまえ、疾患の治療・検査について理解し、専門分野と関連付けて学ぶ		
学習目標	臨床における各疾患の病態生理・症状・治療・検査について理解できる		
授業計画	回数	担当講師	授業計画
	第1回	村上右児	食道の疾患 教科書を読んでおく
	第2回	村上右児	胃の疾患 教科書を読んでおく
	第3回	村上右児	腸の疾患 教科書を読んでおく
	第4回	荻原 健	肝臓・胆嚢・膵臓の機能の障害と治療 1) 肝臓・胆嚢・膵臓の炎症と治療 2) 肝臓・胆嚢・膵臓の腫瘍と治療 3) 胆汁代謝・排泄の障害と治療
	第5回	荻原 健	
	第6回	荻原 健	
	第7回	荻原 健	
	第8回	小路眞護	内分泌疾患 教科書・配布プリントの予習・復習
	第9回	小路眞護	甲状腺疾患 教科書・配布プリントの予習・復習
	第10回	小路眞護	糖尿病 教科書・配布プリントの予習・復習
	第11回	小路眞護	脂質異常症・その他の代謝疾患 教科書・配布プリントの予習・復習
	第12回	末廣朋未	アレルギー・膠原病・感染症と治療 1) アレルギー疾患と治療 2) 自己免疫疾患と治療 3) 感染と治療
	第13回	末廣朋未	
	第14回	末廣朋未	
第15回	末廣朋未		
成績評価方法	終講試験(ペーパーテスト) 各講師25点を合計し100点満点とし、60点以上を合格とする		
教科書	系統看護学講座 専門分野 系統看護学講座 専門分野 系統看護学講座 専門分野	消化器疾患患者の看護 内分泌・代謝疾患患者の看護 アレルギー疾患・膠原病・感染症患者の看護	医学書院 医学書院 医学書院
参考図書			
関連科目			
備考 (学生へのメッセージ)			

科目名	病理学疾病論Ⅲ		担当講師	吉尾正治(医師)末廣朋未(医師) 川島真人(医師)
開講年次	2年生前期・後期		単位数	1単位
授業形態	講義		時間数	20時間
学習目的	病理学総論をふまえ、疾患の治療・検査について理解し、専門分野と関連付けて学ぶ			
学習目標	臨床における各疾患の病態生理・症状・治療・検査について理解できる			
授業計画	回数	担当講師	授業計画	備考(準備・予習・復習など)
	第1回	吉尾正治	腎機能・泌尿器の障害と治療 1) 腎臓の炎症と治療 2) 腎臓と腫瘍と治療 3) 泌尿器疾患と治療	
	第2回	吉尾正治		
	第3回	吉尾正治		
	第4回	末廣朋未	血液・造血にかかわる諸機能の障害とその治療 1) 貧血と治療 2) 出血傾向 3) 白血球減少症 4) 造血器の腫瘍	
	第5回	末廣朋未		
	第6回	川島真人	運動器の障害と治療 1) 骨粗鬆症 2) リウマチ 3) 骨感染症 4) 骨折・人工関節	
	第7回	川島真人		
	第8回	川島真人		
成績評価方法	終講試験(ペーパーテスト) 吉尾講師(30点)末廣講師(40点)川島講師(30点)を合計し100点満点とし、60点以上を合格とする			
教科書	系統看護学講座 専門分野	腎・泌尿器疾患患者の看護	医学書院	
	系統看護学講座 専門分野	血液・造血器疾患患者の看護	医学書院	
	系統看護学講座 専門分野	運動器疾患患者の看護	医学書院	
参考図書	～			
関連科目				
備考 (学生へのメッセージ)				

科目名	病理学疾病論Ⅳ		担当講師	浅井英男(医師)西 博子(医師) 佐藤典子(医師)小泉 堅(医師)
開講年次	2年生後期		単位数	1単位
授業形態	講義		時間数	15時間
学習目的	病理学総論をふまえ、疾患の治療・検査について理解し、専門分野と関連付けて学ぶ			
学習目標	臨床における各疾患の病態生理・症状・治療・検査について理解できる			
授業計画	回数	担当講師	授業計画	備考(準備・予習・復習など)
	第1回	浅井英男	眼部の構造と生理機能および病態と診断のための検査法	様々な組織で構成された眼球と付属器の解剖図を描け、その部位の生理機能を知る
	第2回	浅井英男	主な眼疾患の病変について(前眼部、後眼部)	様々な眼病変に対する眼領域ならではの特異的な症状と病態を理解する
	第3回	西 博子	耳鼻・咽喉疾患	
	第4回	西 博子	耳鼻・咽喉疾患	
	第5回	佐藤典子	皮膚の構造と疾患	皮膚の構造と疾患の病態・検査・治療について理解しておく
	第6回	佐藤典子	皮膚疾患の看護	
	第7回	小泉 堅	口腔機能・病理	
成績評価方法	終講試験(ペーパーテスト)、授業態度を含む 浅井講師30点・西講師30点・佐藤講師30点・小泉講師10点を合計し100点満点とし、60点以上を合格とする			
教科書	系統看護学講座 系統看護学講座 系統看護学講座 系統看護学講座	専門分野 専門分野 専門分野 専門分野	皮膚 眼 耳鼻咽喉 菌・口腔	医学書院 医学書院 医学書院 医学書院
参考図書				
関連科目				
備考 (学生へのメッセージ)				

科目名	成人看護学方法論Ⅰ		担当講師	友松恵里(教員)成吉章江(教員) 植田聡子(教員) 廣田美和子(教員)
開講年次	2年生前期・後期		単位数	1単位
授業形態	講義		時間数	30時間
学習目的	様々な健康レベルにある人々の健康問題とその看護を学ぶ			
学習目標	1. 循環器疾患を持つ患者の看護が理解できる 2. 呼吸器疾患を持つ患者の看護が理解できる 3. 血液・造血器疾患を持つ患者の看護が理解できる 4. 脳神経疾患を持つ患者の看護が理解できる 5. 各成人看護学の分野における医療安全が理解できる			
授業計画	回数	担当講師	授業計画	備考(準備・予習・復習など)
	第1回	成吉章江	循環器	
	第2回	成吉章江	1) 循環器疾患における医療の動向と看護 2) 主な疾患とアセスメント	
	第3回	成吉章江	3) 検査・治療・手術を受ける患者の看護 (1) 心電図 (2) 画像検査 (3) 心臓カテーテル検査・治療	
	第4回	成吉章江	4) 主な疾患と看護 (1) 心不全 (2) 虚血性心疾患 (3) 不整脈 (4) 高血圧	
	第5回	成吉章江	5) 循環器疾患における医療安全	
	第6回	友松恵里	呼吸器疾患における医療の動向主な疾患とアセスメント 検査・治療・手術を受ける患者の看護	
	第7回	友松恵里	検査・治療・手術を受ける患者の看護 主な疾患と看護	
	第8回	友松恵里	人工呼吸器装着患者の看護	
	第9回	友松恵里	胸部フィジカルアセスメント 呼吸リハビリテーション	
	第10回	廣田美和子	血液・造血器 1) 主な理解と看護 (1) 赤血球系の疾患と看護 ①鉄欠乏性貧血 ②巨赤芽球性貧血	
	第11回	廣田美和子	③再生不良性貧血 ④溶血性貧血 (2) 白血球系の疾患と看護 (3) 出血性疾患と看護 ①血管異常による出血性疾患 ②血小板異常による出血性疾患 ③凝固系異常による出血性疾患 ④播種性血管内凝固症候群	
	第12回	廣田美和子		
	第13回	植田聡子	脳神経 1) 脳神経疾患における医療の動向 2) 症状の理解と看護 (1) 意識障害 (2) 頭蓋内亢進症状 (3) 高次脳機能障害 (4) 運動機能障害 (5) 感覚機能障害	
	第14回	植田聡子	3) 検査・治療と看護 4) 主な疾患と看護 (1) 脳血管障害 (2) 脳腫瘍 (3) 神経変性・脱髄性疾患	
第15回	植田聡子	5) 脳神経疾患看護における医療安全 (1) ドレーン管理 (2) 意識障害時の安全管理		
成績評価方法	終講試験(ペーパーテスト) 成吉教員(35点) 友松教員(25点) 廣田教員(20点) 植田教員(20点) を合計し100点を満点とし、60点以上を合格とする			
教科書	系統看護学講座 系統看護学講座 系統看護学講座 系統看護学講座	専門分野 専門分野 専門分野 専門分野	呼吸器疾患患者の看護 循環器疾患患者の看護 血液・造血器疾患患者の看護 脳・神経疾患患者の看護	医学書院 医学書院 医学書院 医学書院
参考図書				
関連科目	解剖生理学、病理学疾病論、成人看護学目的対象論・方法論Ⅱ、看護学実習			
備考 (学生へのメッセージ)				

科目名	成人看護学方法論Ⅱ		担当講師	松本芙美子(教員) 廣田美和子(教員)
開講年次	2年生前期		単位数	1単位
授業形態	講義		時間数	20時間
学習目的	様々な健康レベルにある人々の健康問題とその看護を学ぶ			
学習目標	1. 消化器系疾患を持つ患者の看護が理解できる 2. 内分泌・代謝系疾患を持つ患者の看護ができる 3. アレルギー・膠原病・感染症を持つ患者の看護が理解できる 4. 各成人看護学の分野においての医療安全が理解できる			
授業計画	回数	担当講師	授業計画	備考(準備・予習・復習など)
	第1回	松本芙美子	消化器 1) 消化器疾患における医療の動向と看護 2) 消化器疾患症状の理解と看護 3) 検査・治療・手術を受ける患者の看護 (1) 検体検査(糞便・肝機能検査) (2) 内視鏡検査・生検 (3) 放射線検査 (4) 薬物療法 (5) 食事療法 (6) 手術療法 4) 主な疾患と看護 (1) 消化器の疾患 (2) 肝臓・胆嚢の疾患 (3) 膵臓の疾患 5) 消化器疾患看護における医療安全	
	第2回	松本芙美子		
	第3回	松本芙美子		
	第4回	松本芙美子		
	第5回	松本芙美子		
	第6回	廣田美和子	内分泌・代謝 1) 内分泌・代謝疾患における医療の動向と看護 2) 症状の理解と看護 3) 内分泌疾患の看護 (1) 甲状腺疾患 (2) 視床下部-下垂体系疾患 (3) その他の疾患 4) 代謝疾患の看護 (1) 糖尿病 (2) 脂質異常症 5) 内分泌・代謝疾患看護における医療安全 (1) 糖尿病薬物療法に関する安全管理	
	第7回	廣田美和子		
	第8回	廣田美和子		
	第9回	廣田美和子	アレルギー・膠原病疾患看護 1) アレルギー・膠原病・感染症 (1) アレルギー・膠原病における医療の動向と看護 (2) アレルギー症状に対する看護 (3) アレルギー疾患を持つ患者の看護 (4) 膠原病の検査・治療を受ける患者の看護 (4) 膠原病患者の看護	
第10回	廣田美和子			
成績評価方法	終講試験(ペーパーテスト) 廣田教員(50点) 松本教員(50点)を合計し100点満点とし、60点以上を合格とする			
教科書	系統看護学講座 系統看護学講座 系統看護学講座	専門分野 専門分野 専門分野	消化器疾患患者の看護 内分泌・代謝疾患患者の看護 アレルギー疾患・膠原病・感染症患者の看護	医学書院 医学書院 医学書院
参考図書				
関連科目				
備考 (学生へのメッセージ)				

科目名	成人看護学方法論Ⅲ	担当講師	中務聖馬(看護師)友松恵里(教員) 海藤望(教員) 廣田美和子(教員)	
開講年次	2年生前期	単位数	1単位	
授業形態	講義	時間数	20時間	
学習目的	様々な健康レベルにある人々の健康問題とその看護を学ぶ。			
学習目標	1. 感染症をもつ患者の看護が理解できる。 2. 感覚器系疾患を持つ患者の看護が理解できる。 3. 運動器系疾患を持つ患者の看護が理解できる。 4. 排泄器系疾患を持つ患者の看護が理解できる。 5. 性・生殖器・乳腺疾患をもつ患者の看護が理解できる。			
授業計画	回数	担当講師	授業計画	備考(準備・予習・復習など)
	第1回	中務聖馬	感染症の看護 (1) 感染症医療の動向 (2) 感染症予防 (3) 感染症疾患をもつ患者の看護 ①SARS ②HIV ③MRSA	
	第2回	中務聖馬		
	第3回	友松恵里	感覚器疾患看護	
	第4回	友松恵里	感覚器疾患看護	
	第5回	海藤望	運動器疾患と看護	
	第6回	海藤望	運動器疾患と看護	
	第7回	海藤望	排泄機能系看護	
	第8回	海藤望	排泄機能系看護	
	第9回	廣田美和子	女性生殖器系看護	
	第10回	廣田美和子	女性生殖器系看護	
成績評価方法	終講試験(ペーパーテスト) 中務講師20点、友松教員20点、海藤教員40点、廣田教員20点を合計し100点満点とし、60点以上を合格とする			
教科書	系統看護学講座 専門分野 アレルギー・膠原病・感染症 医学書院 系統看護学講座 専門分野 運動器 医学書院 系統看護学講座 専門分野 腎泌尿器 医学書院 系統看護学講座 専門分野 女性生殖器 医学書院			
参考図書				
関連科目				
備考 (学生へのメッセージ)				

科目名	老年看護学方法論 I	担当講師	植田聡子(教員)	
開講年次	2 年生前期	単位数	1 単位	
授業形態	講義	時間数	20時間	
学習目的	老年者の特徴を捉え、高齢者の健康問題の特徴と看護の視点を学ぶ。			
学習目標	1. 老年者の健康、自立を支えるための基礎的援助を理解できる。 2. 治療を受ける老年者の看護が理解できる。 3. 老年者の健康障害と看護が理解できる。			
授業計画	回数	担当講師	授業計画	備考(準備・予習・復習など)
	第1回	植田聡子	日常生活を支えるADLと看護	
	第2回	植田聡子	転倒・廃用症候群の看護	
	第3回	植田聡子	食事と排泄障害の看護	
	第4回	植田聡子	清潔と看護	
	第5回	植田聡子	生活リズムと看護	
	第6回	植田聡子	コミュニケーションと看護	
	第7回	植田聡子	高齢者の検査・治療・薬物療法の看護	
	第8回	植田聡子	手術を受ける高齢者の看護	
	第9回	植田聡子	認知症と看護	
	第10回	植田聡子	認知症と看護	
成績評価方法	終講試験(ペーパーテスト) 100点満点とし、60点以上を合格とする			
教科書	系統看護学講座 専門分野 老年看護学 系統看護学講座 専門分野 老年看護病態・疾患論	医学書院 医学書院		
参考図書				
関連科目				
備考 (学生へのメッセージ)				

科目名	老年看護学方法論Ⅱ	担当講師	植田聡子(教員)	
開講年次	2年生後期	単位数	1単位	
授業形態	講義	時間数	20時間	
学習目的	高齢者の健康段階に応じた看護の特徴と、QOL向上を目指す老年看護の視点を学ぶ。			
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 治療を必要とする高齢者の看護が理解できる。 2. 高齢者におけるエンドオブライフケアが理解できる。 3. 意思決定支援について看護の役割が理解できる。 4. 高齢者のヘルスプロモーションと多職種連携について理解できる。 5. 高齢者のリスクマネジメントにおける看護師の役割が理解できる。 			
授業計画	回数	担当講師	授業計画	備考(準備・予習・復習など)
	第1回	植田聡子	老年期の看護の展開	
	第2回	植田聡子		
	第3回	植田聡子		
	第4回	植田聡子		
	第5回	植田聡子	老年期の看護の実際	
	第6回	植田聡子		
	第7回	植田聡子		
	第8回	植田聡子		
	第9回	植田聡子	まとめ	
	第10回	植田聡子		
成績評価方法	終講試験(ペーパーテスト100点満点とし、60点以上を合格とする)			
教科書	系統看護学講座 専門分野 老年看護学 医学書院 講座 専門分野 老年看護 病態・疾病論 医学書院	系統看護学		
参考図書				
関連科目				
備考 (学生へのメッセージ)				

科目名	小児看護学方法論 I	担当講師	伊藤創太郎(医師) 本田貴予(医師) 久持聖子(医師) 福島直喜(医師) 小杉雄二郎(医師) 秋本竜矢(医師)	
開講年次	2年生前期・後期	単位数	1単位	
授業形態	講義	時間数	30時間	
学習目的	小児期にみられる主要な健康障害について学び、また、障害をもつ小児の看護について学ぶ。			
学習目標	主要な健康障害の病態及びその看護が理解できる。			
授業計画	回数	担当講師	授業計画	備考(準備・予習・復習など)
	第1回	福島直喜	腎・泌尿器および生殖器疾患	・急性糸球体腎炎・尿道下裂・鎖肛
	第2回	福島直喜	染色体異常・胎内環境により発症する先天異常	・ダウン症候群
	第3回	小杉雄二郎	消化器疾患	・肥厚性幽門狭窄症 ・胆道閉鎖症・腸重積・口唇裂・口蓋裂 ・ヒルシュスプルング病
	第4回	小杉雄二郎	新生児	・新生児仮死・低出生体重児
	第5回	秋本竜矢	呼吸器疾患	・気管支喘息・急性咽頭炎・急性細気管支炎
	第6回	秋本竜矢	内分泌・代謝性疾患疾患	・1型糖尿病・新生児マススクリーニング
	第7回	秋本竜矢		・成長ホルモン分泌不全
	第8回	秋本竜矢	循環器疾患	・先天性心疾患・川崎病
	第9回	福島直喜	神経および運動器疾患	・二分脊椎・先天性水頭症・てんかん ・熱性けいれん・脳性麻痺
	第10回	伊藤創太郎	免疫・アレルギー性疾患 膠原病	・アレルギー性疾患・免疫系の発達
	第11回	伊藤創太郎		
	第12回	久持聖子	血液・造血器疾患 子どもの虐待	・血友病・白血病・紫斑病 ・虐待の現状と対策・多職種の連携・協働
	第13回	久持聖子		
	第14回	本田貴予	感染症	・ウイルス感染症・細菌感染症
第15回	本田貴予	悪性新生物	・神経芽腫・ウィルムス腫瘍・脳腫瘍	
成績評価方法	終講試験 伊藤講師(15点) 本田講師(15点) 久持講師(15点) 福島講師(20点) 小杉講師(15点) 秋本講師(20点)を合計し100点満点とし、60点以上を合格とする			
教科書	系統看護学講座	専門分野	小児臨床看護各論	医学書院
参考図書				
関連科目				
備考 (学生へのメッセージ)				